



世界アルツハイマーデー（認知症の日）講演会

8月24日（日）13時～16時 12:30 開場 定員 220 人 参加無料

会場 神奈川県民センターホール 横浜駅西口徒歩5分・横浜市鶴屋町2丁目-24-2

認知レジリانسについて

～脳にアルツハイマー病の病変があっても認知症にならない人がいます

講師：長田乾氏 横浜総合病院認知症疾患医療センター長

認知症医療とケアの意思決定をいかに支援するか

～共同意思決定の考え方から

講師：繁田雅弘氏 栄樹庵診療所院長、東京慈恵会医科大学名誉教授

認知症の人の意思決定について考える

座長：長田乾氏

報告1

当事者の立場から

～認知症がありますが自分の意志で一人暮らしを続けています

平澤英昭氏 認知症当事者

報告2

在宅介護の立場から

～アルコール依存症を合併した認知症の方への断酒の意思継続支援

稲田秀樹氏 (株)さくらコミュニティーケアサービス

報告3

施設介護の立場から

～介護保険施設に於ける意思決定支援の現状と今後の方向性について

佐野芳彦氏 神奈川県認知症介護指導者連絡会会長

報告4

家族の立場から

～疾患の進行に合わせた本人の意思の尊重を振り返る

木村仁氏 若年認知症グループとんどん副代表

全体討議・リレーメッセージ・アンケート / 地域の取り組みの資料・企業展示コーナー

